

受療率UP！ 予防の運用と実践セミナー・ベーシック

～3DSによる超短期的歯周初期治療・歯科衛生士主導のメンテナンス外来～

第1回

レセプト枚数が 100枚→1000枚 に劇的に増加！

- 口腔バイオフィルムの特性**
患者さんにこう説明しよう
良いプラークと悪い歯垢(新しい歯垢・古い歯垢)
歯垢付着から歯石形成までの臨床的5段階
- 初診の方略 - 全ての人に歯周ケアを受けさせる流れ -**
歯周ケア受療者の作り方
- 卓上実習 [歯科衛生士主導のメンテナンス外来]**
 - ①古いバイオフィルムのリスクの説明法と患者さんへの提示
 - ②ハンドクリーニングの進めかた(動画による解説・ソフトなディプラーキング法)
 - ③エアーフローとPMTC(動画による解説)
一次～三次予防の概念
すぐにでもできる超ベテランPMTCの三大原則
- 机上実習 [予防臨床の時間効率を上げる知識演習・説明法]**
90秒以内で行なう効果的な説明法
患者さんに「うまく」お伝えするためのシステマティックなQ&A演習ポイント

第2回

3DSの 細菌検査・術式 薬剤選択

- 矯正治療前のミュータンス菌の除菌
- 歯周病治療におけるDental Drug Delivery System (3DS) の役割**
-薬剤を用いた微生物学的リスク低減治療-
歯周病の3DSによる超短期的急速消炎処置の
プロトコールと予防歯科外来の組み立て
- 患者さんへの必須説明事項**
・歯周初期治療(基本治療)とは
・初診時の抜歯判定
- 歯周疾患メンテナンスにおけるリスク低減療法・歯周病菌除菌の実際**
 - ①細菌検査(1)・検査値の評価判定・歯周組織検査(1)
 - ③機械的バイオフィルム除去・ディプラーキング・
口腔クレンジング・含嗽剤/フッ化物応用
 - ④3DSトレー印象
 - ⑤歯周組織検査(2)・抗菌療法
 - ⑥SPT・細菌検査(2)・歯周組織検査(3)
- 3DS実施運用に関する3種類のテーブルクリニック**
 - ①位相差顕微鏡を使った、病原性バイオフィルムと健全なプラークの診断とその説明法
 - ②3DSのプロトコールと使用薬剤等
 - ③ドラッグリテーナーの素材とラインナップ

◆開催日程◆

〔第1期〕

2017年 4月 09日(日) 第1回

2017年 4月 23日(日) 第2回

〔第2期〕

2017年 9月 03日(日) 第1回

2017年 11月 05日(日) 第2回

(第1期と第2期とで内容に違いはありません)
(組み合わせは自由です)

〔講師〕

武内 博朗

鶴見大学歯学部臨床教授
医学博士
3DSの開発研究者
神奈川県開業
(医療法人社団
武内歯科医院理事長)



- 日本大学歯学部卒業
- 横浜市立大学医学研究科 大学院修了、横浜市大医学部附属病院歯科口腔外科勤務
- ドイツ国立・マックスプランク研究所免疫遺伝研究部職員
- ハイデルベルク大学医学部分子腫瘍研究部職員
- 国立予防衛生研究所口腔科学部 う蝕室研究員
- 日本抗加齢医学会専門医
- 日本口腔衛生学会認定医
- 国立感染症研究所客員研究員

主な著書:
『歯科発 ヘルシーライフプロモーション』
(2011年) / デンタルダイヤモンド社
『最新3DS環境・う蝕ステージ ペリオステージ』(2009年) / デンタルダイヤモンド社
『Preventive Periodontology』(2007年) / 医歯薬出版

